

神戸市外国語大学ガバナンス・コードについて

1. 大学を取り巻く環境

18歳人口の減少、近隣競合大学での国際系学部・学科の増設・改組の動きなど、本学を取り巻く環境は大きく変化しており、優秀な学生の獲得に向けた競争が激しさを増している。

2. 本学のミッション

- ・グローバルに活躍できる人材の育成
- ・大学ブランドを磨き、神戸の魅力発信

3. ミッションの実現に向け

- ・大学ガバナンス体制の強化

トップダウン型のスピーディな改革・運営が可能な大学マネジメント体制の確立

- ・ガバナンス・コードの策定が必要

昨年の公立大学法人神戸市外国語大学評価委員会でも指摘あり

文科省よりガバナンス・コードの策定の要請

(国立大学協会・私立大学協会は雛型策定、公立大学協会は未策定)

4. 本学の現状・課題

- ・法人の意思決定にかかる仕組みが不明確

経営協議会・教育研究評議会・教授会における審議事項・最終決定機関が不明確

①2015年学校教育法改正に伴う見直しができている

教授会の審議事項 学則の制定・改廃、学部・学科及び課程の設置・改廃

②同じ議題を複数の審議体にて審議

教育研究評議会と教授会にて同一案件を審議

③規程類の体系化がなされていない

5. 改善方法

- ・ガバナンス・コードの策定
- ・法人の意思決定過程の整理（各審議体も責任範囲の明確化及び重複の是正）
- ・規程類の整理

6. 今後のスケジュール案

- | | |
|----------|---|
| 9月～11月 | 学内議論（教育研究評議会・経営協議会） |
| 12月末までに | 教育研究評議会・経営協議会・理事会にて審議決定
→ガバナンス・コード策定 |
| 2021年1月～ | ガバナンス・コードに基づき、順次、学内規程の整備 |